

インターネットを利用した道徳授業の実践

明戸小学校（実践・報告者） 教諭 木村 績男

1 題材名

「ふるしき」 第3学年

2 題材のねらい

- ・日本の文化や伝統に関心を持ち、先人の知恵や工夫について知り、日本のよさを大切にしようとする心を育む。
- ・インターネットを利用して、ふるしきの伝統や包む方を知り、自分たちの生活に生かしていこうとする態度を育てる。

3 題材について

児童の生活はいろいろな部分で洋風化してきている。児童の親の世代が既に昔ながらの生活から離れて育ってきていることを考えれば当然のことである。しかし、生活のほとんどが洋風化してきているからといって、日本に昔から伝わってきた伝統や習慣、先人たちの知恵や工夫についてふれる機会がなくなってしまうのはとても残念なことである。行動範囲も広がり、いろいろな考えを吸収できるようになってきた児童にとって、日本の文化にふれることは大変意味のあることである。ふるしきを題材として、実際にふれて包んだり、ふるしきの歴史について知ること、日本文化のすばらしさに気づき、大切にしようとする心を養いたい。

4 情報機器活用の意図

- ・道徳の学習では、副読本を読んで、それに対する感想を発表し合うことが多くなるが、関連したホームページを利用したり、考えたりすることで、より活発な授業展開が期待できる。
- ・ホームページを利用することで、副読本には紹介されていないふるしきの包み方やふるしきの歴史を知り、さらにふるしきに対する見方が広がり、日本の伝統文化に対する興味・関心がより高められる。
- ・伝統工芸館のホームページに紹介されている「いぶし瓦」は明戸地区の瓦店のものであることから、伝統的な文化がより身近なものであることを感じることができる。



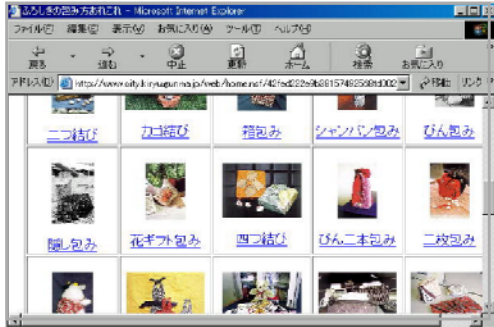
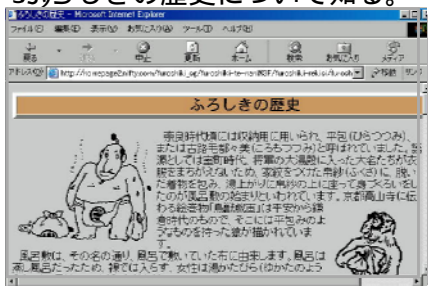
5 授業実践概要

(1) 本時の目標

- ・ふるしきのすばらしさ（機能性、美しさ、伝統）について知ることができる。
- ・先人の知恵や工夫にふれ、日本の伝統文化を大切にしていこうとする態度を育てる。

(2) 展開

学 習 活 動	学習指導の留意点	…情報機器の活用
導入 ・実際のふるしきを見たり、ふるしきを使ったいろいろな包み方をみて感じたことを発表する。	・江戸染め模様や動物がえがかれたふるしきからふるしきの美しさを感じることができるようにする。 ・一升瓶2本とバスケットボールの包み方を見せてふるしきの機能性について気づかせる。	

展開	<p>(1) 資料「ふるしき」を読んで、話しの方向性をつかむ。</p>	<p>・教師の範読の後、一人一人が音読することで、ふるしきについて書かれていることや主人公の気持ちをつかむことができるようにする。</p>
	<p>ふるしきが魔法の布のように思えた「わたし」の気持ちを考えよう</p>	
	<p>(2) 自分の心に残った場面や会話について発表する。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・友禅ぞめというふるしきがある ・ふるしきでつつむと中のものがとてもたいせつなもののような気がする ・びんやすいかまでつつむことができる ・ふるしきはどんな形のものでもつつむことができる ・一枚のふるしきがまほうのぬののように思えてしかたがなかった ・ふるしきはむかしおふるやさんと、ぬいだものをつつんだり、ゆかにしいたりしてついていた。 	<p>「わたし」の気持ちを考えることで、ふるしきの美しさや日本の伝統にふれ、その大切さを感じられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にもってきたふるしきを見せて、ちりめんという材質でできていることや生き物や植物が描かれていて「幸せ」や「幸福」を願っていることについてもふれる。
	<p>(3) 魔法の布のように思えた「わたし」の気持ちを考える。</p>	
<p>(4) 実際にいろいろな包み方に挑戦する。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・おつかいつつみ ・すいかつつみ ・びんつつみ ・はこつつみ...など 		
<p>(5) ふるしきの歴史について知る。</p>		
	<p>どんなものでも包むことのできてしまうふるしきのすばらしさにふれ、その機能性や先人の知恵や工夫にもふれられるようにする。</p> <p>インターネットのホームページを参考に副読本以外の包み方もあることを知り、挑戦できるようにする。</p> <p>ふるしきの歴史について紹介されているホームページから日本の文化や伝統にもふれられるようにする。</p>	
まとめ	<p>(1) ふるしきについて勉強しての感想を発表する。</p>	<p>・板書を参考に、今日学習したことをふりかえり、心に残ったことを発表できるようにする</p>
<p>(2) ふるしきのほかに日本の伝統的なものはないかについて考える。</p>	<p>伝統工芸館のホームページから「深谷のいぶし瓦」についてふれ、自分たちの身近なところにも伝統的な文化がうけつがれていることを知る。</p>	

7 成果と課題

ふるしきに関連したホームページを紹介したことで、学習に広がりが出て、児童の興味・関心を持続することができようと思う。教師からの説明がやや多くなってしまったことから、コンピュータを利用した調べ学習を取り入れることでさらに自主的な活動が行えたように思う。今後も他の学習活動においても積極的にコンピュータを活用していけるようにしていきたい。